

河川景観の改善

国民の生命・財産・生活を守るため、河川の氾濫を防ぐため川を直線化し、河岸や河床をコンクリートで覆ってきました。

その結果、緑豊かなふるさとの川は姿を消し、コンクリートばかりの河川景観が増えてしまいました。



【ネコヤナギによる水辺の景観改善事例】

ネコヤナギをコンクリート護岸に植栽することで水辺に緑を取り戻し、護岸を川になじませて河川景観全体を改善することができる。以下、3件の事例を挙げておく。



二見川（熊本県八代）平成22年3月施工



平成24年5月 施工後2年



岩岳川（福岡県豊前市）平成21年3月施工



平成23年6月 施工後2年



筑後川（福岡県久留米市）平成21年3月施工



平成22年6月 施工後1年

【河川景観の改善に関するアンケート調査】（鹿児島県川内川神子地区の事例より）

神子地区の川辺周辺は、「水辺の楽校」や温泉施設の他に親水施設やボートの練習施設が設けられており、周辺住民の憩いの場となっている。また、ホテルの名所であると共に、8月には「鶴田龍船祭」が開催される等、多くの人々が集う地域となっている。

このような周辺環境でネコヤナギの植栽は河川景観の向上にどの程度の効果があるのか地域住民の意識調査を目的とし、平成25年10月から11月の間にアンケート調査を実施した。

住民アンケート（94名）の結果、以下の表のように「景観が良くなっていると思う」の項目に対して約69%の人がYESと回答し、半数以上の人が良いイメージを持つ結果となった。

質問事項	YES/全体 (%)
Q1 景観がよくなっていると思う。	68.7
Q2 護岸の水際にある「ネコヤナギ」は自然に生えてきたように見える。	81.8
Q3 魚や川の生物にとって環境がよくなったと思う。	65.7
Q4 魚が増えていると思う。	47.5
Q5 「ネコヤナギ」を植えた護岸のほうに川に落ちた時にけがをしにくいと思う。	63.6
Q6 この場所以外の護岸にも「ネコヤナギ」を植えたほうがよいと思う。	67.7
Q7 「ネコヤナギ」が植えられる前にホテルは飛んでた。	17.2
Q8 「ネコヤナギ」の周りにホテルが飛んでいるのを見たことがある。	24.2
Q9 ここ2年か3年の間、この場所でのホテルは増えたように感じている。	27.3
Q10 ここの護岸に「ネコヤナギ」を植えたことでホテルに良い影響があったと思う。	51.5



植栽前の護岸



調査時点の繁茂状況